

第122号
平成30年
(2018年)
5月1日

組合だより

東京都造園建設業協同組合

主な内容

- 2面：全国都市緑化第33回よこはまフェア、第34回はちおうじフェア視察報告
はちおうじフェアガーデンコンテスト（ロードサイドガーデン部門）の出席に当たって
3面：平成30年度造園関連資格試験、研修会・講習会の開催予定
4面：平成30年度役員および委員会、事業計画の紹介
組合員からのたより 若者がなりたい職業 建設業界は？

※建設業許可 東京都知事許可（一般28）第126246号 ※競争入札参加資格（工事等）受付番号11190206（物品買入れ等）受付番号21181504
〒150-0041 東京都渋谷区神南1-20-11 造園会館 TEL:03-3496-2611 FAX:03-3462-2805 URL:http://www.tza.jp E-mail:info@tza.jp

平成30年度通常総会を開催

5議案、1報告事項を承認・可決

平成30年度東京都造園建設業協同組合通常総会は、平成30年2月26日（月）午後4時から渋谷東武ホテル会議室で開催された。

開会に先立ち、高橋一輔理事長からあいさつがあった後、事務局が出席状況を報告、出席者は24人（内委任状出席5人）で総会の成立要件を満たしている旨の説明があった。



あいさつする高橋理事長

議場は、高橋一輔理事長を議長に選出した。議長は議案説明を竹嶋事務局長に命じて、5議案及び1報告事項について慎重な審議の後、報告の通り、承認・可決した。総会終了後に、国土交通省から町田誠公園緑地・景観課長、東京都から大道和彦西部公園緑地事務所長（公財）東京都公園協会から五十嵐政郎常務理事、（二社）日本造園建設業協会から和田新也、林輝幸西副会長らをお招きして、交流会を開催し、組合員との情報交換と共に親睦を図った。

平成30年度を迎えて

東京都造園建設業協同組合 理事長 高橋 一輔

優良企業の組合員の皆様におかれましては常日頃当組合活動に、ご協力を賜りお礼申し上げます。

国交省の地方整備局の2016年度職員は、01年度比で16%減少。自治体の土木部門の職員数は、ピーク時96年度比で、28%減少していると言われています（日刊建設産業新聞3月14日掲載より）。このように減少が続けば、良質な社会資本の整備・管理を施行する上で支障が生じます。

特に、発注業務や設計・監督・検査の人員確保が深刻です。日本は自然災害の最多の国土で

す。常に整備事業、建設事業、緑化事業等々を必然的に、恒常的に実施する必要があります。我々の環境造園事業の工事及び委託業務の受発注業務の中で、特に維持管理業務の委託業務について、公園緑地フィールドの高度化・複雑化・持続性と多様化している現状として、発注者側の技術者不足が常習化しています。

また、受注者側の民間工事会社は、「生産性向上」「働き方改革」「週休2日制」等などのライフワークバランスへと向っています。そして、民間活力の導入、民営化のためにも、民間事

業者は、公共事業受注にも、適正な利益の確保が重要です。ダンピング状態にならない方を策を発注者側は考えていただきたいです。国民の税金を良質なインフラ整備で、有効に使用し、国民・市民へ還元し、良好な雇用に繋げていくことが、公共事業施行の重要なポイントです。公園緑地など、みどり環境空間の継続的な委託維持管理業務は、多様な受発注方式を駆使して、特命受注、甲乙見積合議制、随意契約、多年度責任施工方式などを活用して、良質な公共物を後世に繋いでいくことが重要です。

成熟した民主国家で、「発注者よし、受注者よし、世間（市民よし）」の三方よしの渋沢栄一翁に習いたいものです。

前(株)柳島寿々喜園 会長

鈴木 幸三郎氏を偲んで

春の香りが日々強く感じられる季節になりましたが組合員の皆様にはご健勝のこととご推察いたします。

さて、昨年の年明け（平成29年正月）早々に柳島寿々喜園会長の鈴木幸三郎氏ご逝去の知らせを受け、業界内での大先輩であり人生の大恩人でもありました会長の死には大変衝撃を受けた時のことを昨日のような出来事として思い出しました。

私が弱冠27才で起業し一人では個人邸のお庭のお仕事をさせて頂きながら少しずつ公共工事の下請を始めた時にもいろいろとご指導をいただいたのが鈴木会長でした。

あの当時、柳島寿々喜園様も富士植木様の下請協力会社として事業発展の基盤を造っていた時期だと思いますが、その様な時、私も父の関係で富士植木様のお仕事のお手伝いをさせて頂いた機会を得ましたが、なかなか公共工事の下請業者としての対応が判らなかつた時、声を掛けていただき、ご指導をいただきました。

あれから約40年近く親しくお

付き合いをさせて頂いたとき、誠にありがとうございました。

組合、協会などの活動にも参加する機会をいただきました。も当時の富士植木専務高橋様を筆頭に権蛇様、西山様、奥田様（故人）ら、多くの先輩諸代と共に東南アジア旅行へ行く際もたびたび御声を掛けていただきお供をさせて頂きました。

良く食べ、良く飲んだ思い出があります。ほとんど諸先輩に奢ってもらったと記憶しております。

鈴木会長は大変照れ屋で何をやるにも控え目であり、先頭に立つて何か行動することは無い方でしたが何時も傍でニヤニヤ笑いながら優しい目で接して下さりました。

最近では押上（商工中金）に行った帰りに会社へ寄り添っていただく奥の事務机に座り笑顔で釣り竿を弄りながら昔話をするのを楽しみにしておりました。

近年、病に伏されましたが一時期最先端医療が幸いし大変元気になられ、まさかこの様に突然の訃報をいただくとは思っていませんでした。

生前のご厚情、ご指導に心より感謝申し上げますと共にご冥福を心よりお祈り申し上げます。



(株)桂造園 菊地 謙二 合掌

第33回全国都市緑化よこはまフェア視察



氷川丸の前に設置された大きな「ガーデンベア立体花壇」の前で記念撮影

昨年3月25日から6月4日までの72日間、「歴史と未来の横浜・花と緑の物語」をテーマに『第33回全国都市緑化よこはまフェア』が開催されました。「花や緑がネックレスのようにまち、人、時をつなぐ」との意味から、『Garden Necklace』(YOKOHAMA 2017を愛称)シンボルキャラクターは「GARDEN BAR」(ガーデンベア)でした。私たち日造協東京支部・東京都造園建設業協同組合の三団体は、日造協東京支部のアテンドで5月10日に視察しました。

この度の緑化フェア会場は、メイン会場とパートナー会場があり、メイン会場は「里山ガーデン」と「みなとガーデン」の2つに分かれており、さらに「みなとガーデン」は「横浜公園」・「日本大通り」・「象の鼻パーク」・



はちおうじフェア会場で記念撮影

「森の小径」を通じて「谷戸のカキツバタ園」を鑑賞、「花の里山」、「グランピングサイト」、「フォレストアドベンチャー」よこはまを視察しました。

正午に「みなとガーデン」へ向けて出発。横浜公園にて降車し、「彼我庭園」を見学、雪見灯籠(ピースランタン)に感動を憶えました。日本大通りで横浜らしいお洒落なチュリリップを中心とした「華麗なる春の饗宴」、バラを中心とした「華麗なるバラの競演」、6つのカラーをテーマにした「カラーガーデン」を愛でながら昼食会場へ向かい、午後、横浜市の職員の方から「みなとガーデン」の概要を説明していただき、「象の鼻パーク」で解散し、各自思い思いに「横浜赤レンガ倉庫」、「運河パーク、新港中央広場」などを巡りました。16時に赤レンガ倉庫臨時駐車場集合、「山下公園」までバスで移動して公園を散策、氷川丸の前に設置された大きな「ガーデンベア立体花壇」の前で記念撮影後、視察しながら交流会会場の横浜中華街「大珍楼新館」に向かい、17時から、神奈川県造園業界との懇親を深めました。

今回アテンドいただいた日造協東京支部・事業委員会皆様による再三の下見や打合せにより、綿密な計画のもと楽しく有意義な視察・交流会となりました。誠にありがとうございました。

(株)柳島寿々喜園 松尾 長才

第34回全国都市緑化はちおうじフェア視察

東京都造園建設業協同組合と日本造園建設業協会東京都支部及び東京都造園緑化業協会の三団体による視察研修会が昨年10月4日、総勢31名で全国都市緑化はちおうじフェア等の視察研修を行いました。

最初に、はちおうじフェアのメイン会場「富士森公園」を視察。八王子市の石井様、渡辺様と(株)植小の佐藤工事部長に、ご説明、ご案内いただきました。

続いて、八王子市百年の記録と百m百種類のベチュニアを植えた「八王子100周年アーカイブガーデン」、フェアのコンセプトや八王子とゆかりのある自治体などを紹介した展示と多摩川の自然を表現した「はちむすびガーデン」、コスモスの花が満開で写真スポットとなっていた「八王子千人同心花壇」の順にメインエリアを視察。市民が積極的に関わり、展示や制作に参加したり、展示部材を地元産にするなど、フェアのコンセプトに合った八王子らしい取り組みでした。

市民が作った音の出るオブジェも会場に点在し、市民参加型のフェアを印象付けるやさしい音色が我われを迎えてくれているように感じました。

メインのエリアから離れた

「第34回全国都市緑化はちおうじフェア」は、八王子市の市制100周年を記念してのメイン事業として開催されました。残念なことに当組合は実行委員として関与することがありませんでしたが、(一社)日本造園建設業協会(日造協)東京都支部として実行委員に携わった事を簡単に報告いたします。

残念なことには、組合だけでなく日造協も、八王子市内の会員が不在で、非常に苦慮していたところ、前年度、横浜で緑化フェアが開催された関係で、「横浜公園指定管理者連絡会」が出展するコンテストガーデンに、日造協本部より、東京都支部へ施工依頼があり、東光園緑化(株)が施工を担当することとなりました。基本的構想は連絡会から意見をいただき、全体の設計を日造協本部、植栽関連の設計施工を横浜フェアでジャクリンガーデンなどの会場の花壇をコーディネートされた「Gardener・詠」の平工 詠子さんに協力いただくことでス

ランテアの方々も積極的に手を貸してくださっているのと、視察の最後には家屋の中を拝見し、日本の伝統的な建築を鑑賞させていただきました。

バスで約20分。研修の最後、2015年にオープン、高尾山の標高599mを冠した「TAKA599MUSEUM」は高尾山の生態系をアクリル樹脂で封印し、動植物の標本を美しい状態で展示し、いまにも動きそうなりアルな標本が高尾山の自然の豊かさとその重要性を感じさせるものであった。

懇親会は「八王子エルシ」で行われ、八王子市都市緑化フェア推進室の佐藤室長もご参加いただきました。フェアの話題で盛り上がるともに、三団体と会員同士の親睦が深まった会となりました。

帰路、西放線線ユーロードで装飾された花壇に目をとられ、この歩道もフェアのサテライト会場で、美しい歩道を歩き今回の研修を締め括りました。

(株)石勝エクステリア 川崎 鉄平

化フェアは、「参加体験型」として市民と共同で創り上げ、多くの市民に交流の場を提供することが目的となっていました。

メイン入口から入るとまずはエントランスを彩る花の壁面花壇が私たちを迎え、色鮮やかな秋の草花を植えた大面積の壁面は迫力満点で、今回の視察研修会の集合写真を撮影させていただきました。

続いて、八王子市百年の記録と百m百種類のベチュニアを植えた「八王子100周年アーカイブガーデン」、フェアのコンセプトや八王子とゆかりのある自治体などを紹介した展示と多摩川の自然を表現した「はちむすびガーデン」、コスモスの花が満開で写真スポットとなっていた「八王子千人同心花壇」の順にメインエリアを視察。市民が積極的に関わり、展示や制作に参加したり、展示部材を地元産にするなど、フェアのコンセプトに合った八王子らしい取り組みでした。

市民が作った音の出るオブジェも会場に点在し、市民参加型のフェアを印象付けるやさしい音色が我われを迎えてくれているように感じました。

メインのエリアから離れた

「第34回全国都市緑化はちおうじフェア」は、八王子市の市制100周年を記念してのメイン事業として開催されました。残念なことに当組合は実行委員として関与することがありませんでしたが、(一社)日本造園建設業協会(日造協)東京都支部として実行委員に携わった事を簡単に報告いたします。

残念なことには、組合だけでなく日造協も、八王子市内の会員が不在で、非常に苦慮していたところ、前年度、横浜で緑化フェアが開催された関係で、「横浜公園指定管理者連絡会」が出展するコンテストガーデンに、日造協本部より、東京都支部へ施工依頼があり、東光園緑化(株)が施工を担当することとなりました。基本的構想は連絡会から意見をいただき、全体の設計を日造協本部、植栽関連の設計施工を横浜フェアでジャクリンガーデンなどの会場の花壇をコーディネートされた「Gardener・詠」の平工 詠子さんに協力いただくことでス

はちおうじフェア ガーデンコンテスト (ロードサイドガーデン部門) の出展に当たって

平成30年度 造園関連資格試験の日程

資格名	申込期間	学科試験日	実技試験日	問合せ・申込先
1・2級造園技能検定	4月4日(水)～4月17日(火)	8月19日(日)	8月4日(土)～8月6日(月)	東京都職業能力開発協会
1級造園施工管理技術検定	5月7日(月)～5月21日(月)	9月2日(日)	12月2日(日)	(一財)全国建設研修センター
2級造園施工管理技術検定(前期)	3月7日(水)～3月22日(木)	6月3日(日)	—	(一財)全国建設研修センター
2級造園施工管理技術検定(後期)	7月17日(火)～7月31日(火)	11月18日(日)	11月18日(日)	(一財)全国建設研修センター
植栽基盤診断士補	5月8日(火)～5月22日(火)	6月6日(水)	6月5日(火)	(一社)日造協関東甲信総支部
植栽基盤診断士	8月15日(水)～8月31日(金)	9月16日(日)	11月8日(木)～10日(土)	(一社)日本造園建設業協会
街路樹剪定士	10月16日(火)～10月25日(木)	11月27日(火)	11月28日(水)～29日(木)	(一社)日造協東京都支部
登録造園基幹技能者	8月1日(水)～1月9日(水)	1月24日(水)～25日(金)	—	(一社)日本造園建設業協会
樹木医	5月1日(火)～6月8日(金)	7月22日(日)	10月1日(月)～13日(土)	(一財)日本緑化センター
公園管理運営士	4月1日(日)～6月8日(金)	7月28日(土)	11月24日(土)～25日(日)	(一社)日本公園緑地協会
1級土木施工管理技術検定	3月16日(金)～3月30日(金)	7月1日(日)	10月7日(日)	(一財)全国建設研修センター
2級土木施工管理技術検定	6月25日(月)～7月23日(月)	10月28日(日)	10月28日(日)	(一財)全国建設研修センター
1・2級建設業経理士	5月18日(金)～6月19日(火)	9月9日(日)	—	(一財)建設業振興基金

平成30年度 研修会・講習会の開催予定

講習会名	申込期間	開催日	募集人員	研修会場
植栽基盤診断士補研修会(実技・学科)	5月8日(火)～22日(火)	6月5日(火)～6日(水)	80	埼玉建産連会館
農薬土壌・特殊緑化技術講習会	5月28日(月)～6月12日(火)	6月26日(火)～27日(水)	40	国立オリンピック記念青少年センター
造園技能検定受検対策講習会(実技)	6月1日(金)～6月20日(水)	7月13日(金)～15日(日)	30	都立園芸高校
1級造園施工管理技術受検対策講習会	6月26日(火)～7月12日(木)	7月26日(木)～27日(金)	40	国立オリンピック記念青少年センター
植栽基盤診断士学科準備講習会	7月20日(金)～8月14日(火)	8月27日(月)	60	国立オリンピック記念青少年センター
2級造園施工管理技術受検対策講習会	8月23日(木)～9月12日(水)	9月26日(水)～27日(木)	30	国立オリンピック記念青少年センター
植栽基盤診断士実技試験準備講習会	10月1日(月)～18日(木)	10月27日(土)	30	都立園芸高校
街路樹剪定士資格更新研修会	7月2日(月)～11月6日(火)	11月13日(火)午前・午後	200	国立オリンピック記念青少年センター
街路樹剪定士認定研修会・実技試験	10月16日(火)～25日(木)	11月27日(火)～29日(木)	90	国立オリンピック記念青少年センター・多摩NT

○お問合せ・お申込みは、当組合事務局（TEL：03-3496-2611）まで

新入社員教育講座

農薬土壌・特殊緑化技術講習会 開催案内

■日 時：6月26日(火)～27日(水)
 ■講義内容
 1日目：農薬・肥料・病害虫
 土壌・土壌改良
 2日目：特殊緑化技術・人工地盤
 資材・施工技術、育成管理
 ■会 場：国立オリンピック記念
 青少年総合センター
 ■受講料 会員：10,000円
 (テキスト代共) 一般：14,000円
 ■申込期間：5月28日(月)～6月12日(火)

1・2級 造園技能検定
受検対策講習会 開催案内

■日 時：7月13日(金)～15日(日)
 ■講義内容
 13日：実技試験の受験要領
 14日：実技実習指導
 15日：実技実習指導
 ■会 場
 13日(座学) 造園会館8階
 14・15日(実技) 都立園芸高校園場
 (実際の試験と同じ会場と材料を使用した反復練習)
 ■受講料： 会員：25,000円
 (テキスト代共) 一般：30,000円
 ■申込期間：6月1日(金)～6月20日(水)

1・2級 造園施工管理技術検定
受検対策講習会 開催案内

■日 時：1級：7月26日(木)～27日(金)
 2級：9月26日(水)～27日(木)
 ■講義内容
 1日目：関連法規、計画設計、造園材料
 2日目：造園施設、施工管理、工程管理
 ■会 場：国立オリンピック記念
 青少年センター
 ■受講料： 会員：18,000円
 (テキスト代別途) 一般：25,000円
 ■申込期間：1級：6月26日(火)～7月12日(木)
 2級：8月23日(木)～9月12日(水)



出展庭園「ハチおうじとヨコハマを結ぶ絹の道」

タートしました。
 テーマは「はちおうじとヨコハマを結ぶ絹の道」と題し、コンセプトは横浜から八王子へ緑化フェアがバトンタッチされたように、八王子と横浜の繋がりの歴史を表現しました。
 横浜と八王子の繋がりは江戸後期まで遡ります。八王子は万葉集にも歌われているように、平安時代より養蚕と織物の文化があったそうなんです。養蚕や織物で賑わい、生糸のほとんどが八王子で集積され、江戸に流通していききました。
 そして、1859年の横浜港開港により、八王子から横浜に運び、それが外国へ輸出されていきました。鍔水商人と呼ばれている多くの絹商人の往来が盛んになって、後に「絹の道」と称されるほど発展するようになりました。また、横浜も生糸貿易港として世界に名を馳せました。
 そのような繁栄で、織物を求めて全国各地から商人が買付けに来て、その社交場として花街が形成され、多摩地域最大の花街、「黒塀の街」として大いに賑わいました。
 このような八王子と横浜との永い繋がり歴史を表現した作

品を作らせていただきました。

①黒塀 花街で賑わい、現在も八王子市中町地区にある「黒塀通り」をモチーフに、黒塀を再現しました。この黒い塗装は日本古来の伝統技術で、渋墨塗り(しぶみぬり)といつて、柿渋と松

木を焼いた煤(松煙)を混ぜたもので、防虫・防腐効果がある他、建物の化粧として用いられています。
 また、欄間から、丹沢山地と富士山が遠くに見えるのを表現しております。

②絹の道 八王子から横浜まで織物などが往来した「絹の道」。それを八王子から横浜港へ繋がるイメージを着物の絹帯で表現しました。

③植栽デザインコンセプト よこはまフェアで魅せていた海外の近年の植栽デザインの景色・見せ方を八王子の高尾に自生する植物などへとつながり、融合を表現しました。

④車輪 絹織物などを積んだ荷車が多くの往來した面影を表現しました。

⑤繭玉 養蚕の元となる繭玉を竹のオブジェで表現しました。

⑥レンガ 横浜港のイメージを、赤レンガ倉庫で多く使われている「オランダ積み」で表現し、海や穏やかな波のイメージを白玉砂利とアクリルアイスで表現しました。

このような貴重な機会はいい勉強となりました。

(一社) 日本造園建設業協会
 東京都支部長 田丸敬三

平成 30 年度 役員および委員会の紹介

平成 30 年度の東京都造園建設業協同組合は、下記の役員及び委員会で運営しております。

役員名簿	役 職	氏 名	所属会社
	理 事 長	高 橋 一 輔	アゴラ造園 (株)
	副 理 事 長	和 田 新 也	箱根植木 (株)
	副 理 事 長	鈴 木 義 人	(株)柳島寿々喜園
	専 務 理 事	竹 嶋 正 實	員 外
	理 事	卯 之 原 昇	(株)昭和造園
	理 事	加 勢 充 晴	加勢造園 (株)
	理 事	菊 地 謙 二	(株)桂 造 園
	理 事	奥 本 寛	(株)日比谷アメニス
	理 事	田 丸 敬 三	東光園緑化 (株)
	理 事	千 田 拓 雄	(株)多摩ニュータウンサービス
	理 事	成 家 岳	(株)富士植木
	監 事	林 輝 幸	西武造園 (株)

事業計画	●総務委員会		
	(1) 事業計画及び予算の立案		
	(2) 日本造園建設業協会関東甲信総支部及び東京都支部、一造会の事務局業務を受託して実施		
	(3) 関連他団体との調整		
	(4) その他組合運営全般に関する事項		
	●教育研修委員会		
	(1) 農業土壌・特殊緑化技術講習会		
	(2) 1・2 級造園技能検定準備講習会		
	(3) 1・2 級造園施行管理技術受験対策講習会		
	(4) 植栽基盤診断士実技試験準備講習会		
	(5) 植栽基盤診断士試験準備講習会のテキストの作成		
	(6) 造園技能検定試験の開催協力		
	(7) 東京都造園高等職業訓練校の運営		

委員会名簿	委 員 会	役 職	氏 名	所属会社
	総務委員会	委 員 長	鈴 木 義 人	(株)柳島寿々喜園
		副 委 員 長	和 田 新 也	箱根植木 (株)
		委 員	菊 地 謙 二	(株)桂 造 園
		委 員	林 輝 幸	西武造園 (株)
		委 員	成 家 岳	(株)富士植木
	教育研修委員会	委 員 長	加 勢 充 晴	加勢造園 (株)
		委 員	西 村 昇	西村造園土木 (株)
		委 員	鳥 羽 修 平	(株)飛 鳥
		委 員	吉 村 長 泰	(株)吉村造園
		委 員	市 川 泰 正	(株)岩 城
	共同購買事業委員会	委 員 長	佐 藤 英 介	(株)石勝エクステリア
		副 委 員 長	卯 之 原 昇	(株)昭和造園
		委 員	岡 野 正 和	(株)岡野造園
		委 員	千 田 拓 雄	(株)多摩ニュータウンサービス
		委 員	根 岸 聖 一	根岸造園土木 (株)
	情報厚生委員会	委 員	篠 正 一	箱根植木 (株)
		委 員	丸 山 賢 史	(株)日比谷アメニス
		委 員	田 丸 敬 三	(株)富士植木
		副 委 員 長	松 尾 長 才	東光園緑化 (株)
		委 員	木 村 良 孝	(株)柳島寿々喜園
	新委員の紹介	委 員	小 島 孝 志	アゴラ造園 (株)
		委 員	高 木 宏 昌	音羽建物 (株)
		委 員	比 留 間 孝 明	(株)表養樹園
		委 員	近 藤 勇 樹	(株)勇和造園
		委 員	近 藤 勇 樹	(株)勇和造園

新委員の紹介	○共同購買事業委員会		
	篠 正一	箱根植木(株)	第一営業部長
	田丸 直	(株)富士植木	企画開発第2部 課長
	丸山 賢史	(株)日比谷アメニス	社会環境部長
	○教育研修委員会		
	市川 泰正	(株)岩城	取締役技師長
	佐藤 英介	(株)石勝エクステリア	取締役執行役員経営管理本部副本部長
	○情報厚生委員会		
	近藤 勇樹	(株)勇和造園	専務取締役

組合員からのたより

若者がなりた職業 建設業界は？

近年、私も建設業界に若者の就職率が減少しているとの話は頻繁に聞かれています。思っています。

では、彼らどのような職業を求めているのでしょうか？

今回は、高校生男子に焦点を当てて書かせていただきました。

まず、1位に「ITエンジニア・プログラマー」、2位に「ものづくりエンジニア」以下ゲームクリエイター、公務員、学者及び研究者となっております。堅実な職や興味がある職が多いと感じます。また「ものづくりエン

ジニア」には自動車関係が多く含まれており、建築士もこちらに含まれております。

この理由としては、「やりがい」「安定」「お金」という考え方が大多数を占めているようです。その見解としては以下の内容が多いようです。

やりがい：好きなことなら大変でも我慢できる。

仕事をやっている意義や楽しさを感じないとつまらない。

安定：一度入社したら中途退職する心配のない経済的安定を求めている。：リストラにあつたら困る。

お金：老後に年金がもらえる心配です。：少しくらい嫌な思いをしても多いお金をもらつ

た方がいい。

この意見が出ております。

上記の内容を考慮した個人的な見解としては、建設業界には「やりがい」は大いにあると考えておりますが、「安定」や「お金」という面では改善する必要があります。

安定やお金は、非常に大きな課題となると思いますが、「社会保険加入」の徹底が世間に行渡っている、この時期に各々会社で退職金制度見直しや労働時間改善等の取り組みを積み上げていく事により緩やかではあります、若者の建設業への就職率向上となるのではないのでしょうか？

※上記の職業ランキングは、「ソニー生命」及び「ハローワーク」様のランキングを参考とさせていたいております。

編集後記

清々しい五月晴れが快い季節となりました。私が情報厚生委員にさせて頂いた、もう5年になりました。一重に皆様方のお陰と感謝しております。

この度、はじめて編集後記を書かせていただきます。

今年の組合だより作成の第1回会合は、東京都心で23cmの記録的積雪となった1月22日午後4時に予定されておりました。私はこの雪、この時間では当然中止と思い、事務局に欠席の伝言↓スミーズ帰宅↓家でニュー

ス鑑賞↓渋谷駅混雑状態放映↓

ホツと胸をなでおろし就寝！↓そして、次の月の会合に何事もなかったように参加致しました。すると：あの大雪の中普通に開催！（えっ？）遅くまで帰れなくて大変だったとお聞きし、物凄くバツが悪く、丁重に謝罪致しました。という事で皆様、この組合だよりは情報厚生委員会の真面目な熱いハートで出来ているのです！（お前が言うな）

今後は私も諸先輩方を見習い、大雪だろうが参加致しますので皆様宜しくお願い致します！

風薫る新緑の中、皆様のますますのご健勝をお祈り致します。

音羽建物(株) 高木 宏昌

(株)勇和造園 近藤 勇樹